

水しづきに大はしやぎ

第4保育所で水でつぼう作り

町立第4保育所(木山、永田親子所長)で8月10日、年長組の園児20人と、木山老人クラブ(梅田隆義会長)の会員8人が一緒に竹の水でつぼうを作り、水遊びを楽しみました。

これは、竹などを使った昔ながらの遊びを今の子どもたちに知って楽しんでほしいと、同クラブが毎年行っているものです。この日は35度を超す猛暑日。園児たちは、



元気に水を飛ばす子どもたち

用意された竹に真剣な表情で布を糸で巻きつけて水でつぼうを作り上げると、もう待ちきれないとばかりに園庭のプールへ走って移動。最初は竹の水でつぼうに慣れず、その扱いに戸惑っていた子どもたちも、会員の皆さんの優しい手ほどきを受けるとすぐに上手に遠くまで水を飛ばせるようになり、水しづきを浴びながら楽しいひと時を過ごしました。

童謡で楽しいひととき

つどいの広場とんとんでサマーコンサート

町つどいの広場とんとんで7月21日、音楽愛好家仲間で作る「完熟トマト」によるサマーコンサートが開催され、親子連れなど25組67人が集まり、楽しいひとときを過ごしました。

演奏された曲目は、「さんぽ」「たなばたさま」など子どもに人気の童謡12曲。元気あふれる子どもたちが、音楽に合わせて歌ったり踊ったりすると、会場は大いに盛り上がりました。

つどいの広場とんとんは、こうしたコンサートを開催するなど、いろいろな催しを織り交ぜながら子育てをサポートしています。0歳から就園前の児童と保護者を対象に無料で開放している交流の場です。



音楽を楽しむ親子



ひとりずつジャガイモを手渡しました

児童発案、ジャガイモ配る

津森小学校で交通安全キャンペーン

7月17日から19日にかけて、津森小学校校門前で、飲酒運転防止および交通安全キャンペーンが行われました。

今年3月、学校農園(伍三郎農園)で全校児童がジャガイモを植え付け、6月には500kgを収穫しました。そのジャガイモの活用法として、児童発案により、ジャガイモと一緒に安全運転を呼びかけようと、今回のキャンペーン活動が実施されました。児童らは校門前で止まってもらったドライバーに「安全運転をお願いします」と声をかけ、袋に詰めたジャガイモを配りました。このキャンペーンには、木山中学校の生徒も参加し、一緒に呼びかけました。